
2015年度 第4回 音環境運営委員会 議事録

記録:岩本

A. 日時 2016年2月22日(月)17時00分~19時00分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 佐久間哲哉(主査),池上雅之,稲留康一,井上勝夫,大嶋拓也,岡野利行,川井敬二,古賀貴士,
坂本慎一,杉江 聡,田中 学,田端 淳,中澤真司,岩本 毅(幹事),平光厚雄(幹事)

欠席者 佐藤 洋,佐藤史明,羽入敏樹,濱田幸雄(敬称略)

D. 提出資料

2015年度第4回音環境運営委員会議事次第

No.4-0 2015年度第3回音環境運営委員会議事録(案)

No.4-1 2015年度第3回環境工学本委員会資料

No.4-2 2016年度環境工学委員会予算配分

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認

- ・修正事項:2.(5) 対象→大賞
- ・修正事項:2.(14) 2014→2016

2. 環境工学本委員会の報告 (資料2-1)

(1) 2015年度大会関連

- ・概要報告:環境工学は1252題,2979名参加 内,OSは61題.
- ・参加者人数:研究懇談会は35名,研究協議会は293名.
- ・出欠状況:環境工学は欠席率2.7%で例年並み.全体での欠席率は3.7%.
- ・大会研究集会資料の公開について:「アジア蒸暑地域に映る環境工学の未来」残部無し時(現在54残),
「今後の環境工学を担う若手研究者」1年後(現在58残)
- ・発表登録費未納者 環境工学 11名(発表者のみ,全体では66名)

(2) 2016年度特別研究テーマ:①「建築分野における産学連携とイノベーションに関する事例分析および方法論の提言,②建築環境呼吸器病原体の実態把握に基づく集団感染機構のモニタリング法の確率が採択された.

(3) 第55回竹中育英会建築研究助成候補募集:申請書の提出締切は2016/3/31 17:00(必着).

(4) CiNii終了に伴う本会論文等電子データの公開方法:J-STAGEに移行する.ただし英文論文集以外は冊子媒体があるため電子データの公開は刊行1年後が原則.

(5) 第29回環境工学連合講演会:2016/5/13(金)開催,テーマは「未来の社会を担う環境工学」音環境として坂本先生(東大)が講演予定.

(6) 2016年度大会:研究協議会「環境シミュレーションと建築デザイン」は2日目午前,研究懇談会「建築環境工学の国際的展開と建築学会の役割」は3日目午後,パネルディスカッション「建築物の振動に関する居住性能評価指針の改定に向けて(仮題)」は初日午前(変更の可能性あり)となった.

(7) AIJES「電気鉄道周辺における変動磁場の計測評価法規準・同解説」関連運営委員会差読者については水間氏(交通安全県境研究所)および山崎氏(竹中工務店)に依頼することとなった.

(8) AIJES「照明環境基準」の刊行が承認された.

(9) 「市街地風環境予測のための流体数値解析ガイドブックーガイドラインと検証用データベース」を英文化し刊行することとなった。英文名 (AIJ Benchmarks for validation of CFD simulations applied to pedestrian wind environment around buildings)。

(10) 委員会の英文名称：各運営委員会の標記を統一することとなった。運営委員会は Managing Committee on ～, 小委員会は Sub Committee on ～とする。小委員会の Sub の後のスペースが必要かどうか上部委員会で決定すること。なお音環境運営委員会については既にこの標記で統一されている。

(11) 既刊本を用いた講習会を開催してほしい旨の通知があったので、各小委員会においても開催を検討していただきたい。

3. 審議事項

(1) 大会「若手優秀発表」：2016 年度より「若手優秀発表賞」として新設することとなった。新たに賞として新設するので今までの「若手優秀発表」者の重賞を認め、賞となってからの重賞を認めないというのが環境工学委員会の方針であるが、音環境については過去も含め重賞を認めない方向で調整することとなった。

(2) 論文集委員会委員については岡田先生（名城大）を第一候補者とした。

(3) 2016 年度大会プログラム編成会議：2016/4/21（木）13:00～。小委員会主査を基本とするが、交通費削減のため小委員会ごとに 1 名の出席者を決めて 3/25 までに佐久間主査まで連絡いただきたい。

4. 各小委員会・WG の活動報告

(1) 固体音小委員会

- ・ 前回は 12/16 に実施、次回は 3/1 予定。
- ・ オーガナイズドセッション内容に関する事項と ISO 測定法規格に関する調査を実施中。
- ・ 傘下の鉄道固体音測定法 WG は 1/20 実施。引き続き事例調査を実施中。

(2) 集合住宅の遮音性能水準検討小委員会（メール報告）

- ・ 1/18 に実施、次回は 3/14 予定。
- ・ 室内における交通騒音データの分析、騒音の評価手法の在り方について意見交換を実施した。次年度のテーマの主担当者を決定した。

(3) 建築音響測定法小委員会

- ・ 1/13 に実施、次回は 3/4 予定
- ・ 11/30 に小林理研にて実施した音響インテンシティ法に関する実験結果の報告。
- ・ 富来先生に PU センサーについて講演いただき、PU センサーの校正に関する検討結果と情報交換、
- ・ A 特性の遮音評価については次回以降測定法の課題について検討予定

(4) 室内音響小委員会

- ・ WG についてはシンポジウム後、保育園協会から講演依頼が数件ありこれらを通じて情報を広めていこうと考えている。また、厚生労働省の補助金について共同通信から取材があった。
- ・ 事例集 WG 12/17 雑誌「ディテール」が発行された。53000 部の発行数で Amazon ではすでに売り切れている模様。意見等があれば連絡いただきたい。

(5) 音響数値解析小委員会

- ・ 12/25 に実施。次回 3/15 予定。

・古賀氏に参加いただき実務的な適用事例等について紹介をいただいた。インピーダンスの測定結果の公表について議論した。

(6)音環境規準検討小委員会

1/27 に開催。次回 3/25 予定。

・複合建物の方向性について検討を実施した。また、考え方については今後の進め方について議論を実施した。
ISO717 part2 についてボールデータの提出について検討した。

(7)企画・広報 WG

・第 5 回 12/18, 第 6 回 2/9 実施, 次回は 4/15 予定。

・第 5 回: 建音検索のメンテについては 2015 年までの AIJ, ASJ, INCE-J の口頭論文 1200 データを年度内にアップデートする予定。

・第 6 回: 建音検索のアップデートの打ち合わせ。音響関係の書籍の内容チェックを実施し、今後必要な書籍の提案をする予定。

(8)集合住宅騒音防止住まい方マニュアル刊行小委員会

暫定原稿を作成し、内容のチェック中。今後 3/23 までに相互チェックを完了し技報堂の校正の適否を確認予定。次年度は査読とその修正、承認を上期に実施し、下期に出版予定。

[審議事項]

査読者については、音環境は坂本先生（東京大学）、橋本先生（八戸工大）を候補とする。

その他候補者については 司法支援建築会議に対して井上先生から依頼をすることとなった。

5. 他学会・研究会の予定

(1)日本音響学会・建築音響研究会

・ 3/16 豊洲シビックセンター

(2)日本音響学会・騒音振動研究会

・ 3/4 九州大学, 4 月休会, 5/19 大同大学

次回以降予定 次年度 6/10 (金)